

表 2 第 97 回薬剤師国家試験合格率

	合格率	受験者数	合格者数
総数	88.31%	9785 人	8641 人
6 年制卒	95.33%	8583 人	8182 人
既卒	38.19%	1202 人	459 人

は、全問題への配点の 70%以上で、かつ構成する領域の得点がそれぞれ配点の 50%以上、「一般問題」は構成する各領域の得点がそれぞれ配点の 35%以上とされている。これを「足切り」という。

4 年次に行われる C B T は総点で判断される (60%以上) が、国家試験は、各領域ごとに「足切り」が設定されているので、いくら総点が合格基準に達していても「足切り」で不合格になるので注意しなければいけない。第 97 回国家試験でも「衛生」の足切りで不合格になった受験生が多かった。

第 97 回薬剤師国家試験の総評と今後の展望

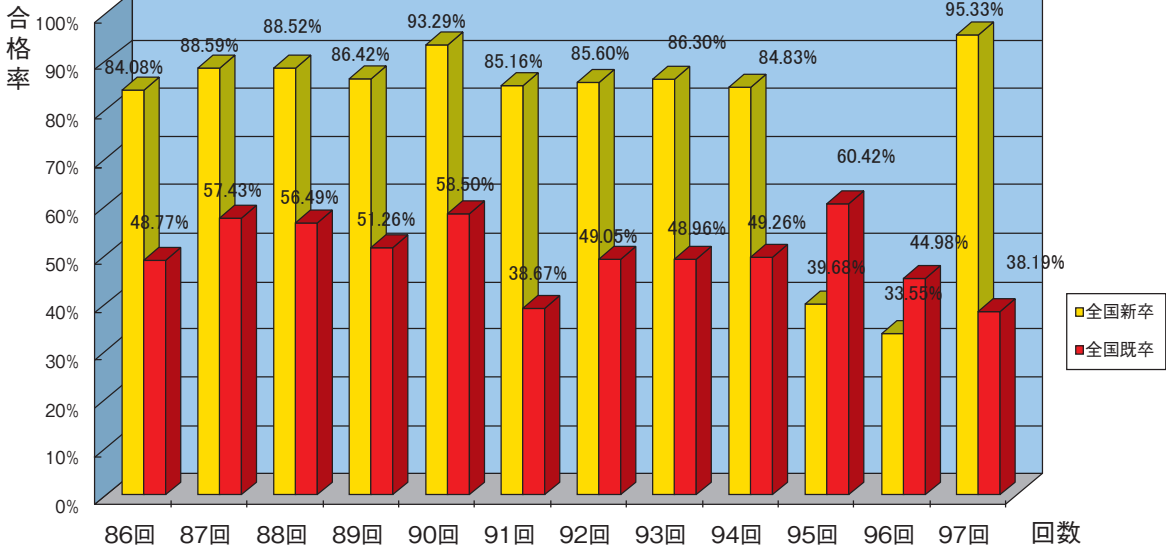
今回から導入された「複合問題」を中心に医療現場の実践的な出題や難易度の高い出題もあったが、全体的には得点しやすい問題であった。また、医療現場を経験しなければ解けない「長期実務実習」の成果を意識した問題も出題されていた。

(1)「必須問題」は、基本は五肢択一であるが、四肢択一、六肢択一もあった。出題基準に沿った基本的な問題が多く、薬ゼミの自己採点システムの結果で見られるように、87%を超える正答率であった。しかし、薬理には癌化学療法に用いる制吐剤の新薬であるアプレピタントを選ばせる問題など、長期実務実習の成果を意識した問題もあった。今後も新薬や現在話題になっている事象等が出題されるので、普段から新聞などで最近のトピックスをチェックしておく必要がある。

また「必須問題」は、一般問題に比べて比較的得点しやすいため得点源であるので、「必須問題」の得点率が 90%なら、「一般問題」の得点率は 56.5%で合格基準に達することになる。「必須問題」は、80～90%の得点率を目指して勉強してほしい。

(2)一般問題の薬学理論問題は、3～4 年間難易度が高い傾向にある遺伝子に関する問題など、今回は新傾向の問題が出題されている。しかし、旧薬剤師国家試験の既出問題を

表 3 薬剤師国家試験合格率推移



ベースにした出題が多く、基礎を押さえて既出問題の内容を理解していれば得点できる問題が多かった。第 97 回での既出問題の再出題や類題は約 20%であり、特に薬学理論問題では約 30%の出題であった。暗記するのではなく、周辺の事項を理解していれば大きな得点源になるので、ぜひ第 89 回から 97 回の既出問題は、8 月までに 1 回は解いてほしい。

勉強するための注意点は、旧国家試験の既出問題には正誤表などの選択肢があるが、新国家試験ではなく、正しいものあるいは誤っているものを 1 つあるいは 2 つ選ぶ、などという問いになっている。また C B T と違い記述が長いので読解力が必要である。

(3)「薬学実践問題」の症例や事象・処方を読み、実務とそれ以外の領域の問いに答える「複合問題」は、例えばバイタルサインや検査値などを読み最初の回答をするが、もし回答が誤りだと次の回答も間違ってしまうような設問で、問題解釈・解決能力を問う問題が理想であるが、今回はこのような問題が比較的少なかった。連問でもつながりのない「複合問題」が多かったため全体的には得点できたと思われる。しかし今後は良問が増え、「薬学実践問題」の難易度によって合格率が変動するものと考えられる。また症例、検査値を読み病態・薬物治療疾患の問題を解き、処方



合否を確認する受験者、関係者 (厚労省にて)

を読み解く複合問題では、従来記載されていた検査値の基準値が今回は示されていないかった。検査項目と基準値をしっかりと頭の中に入れておく必要がある。

薬学理論問題・薬学実践問題では、薬物動態を中心に計算問題が多く出題されている。第 98 回国家試験も同様の傾向が続くと考えられる。計算問題は C B T では出題されないの、苦手な方は早期からの取り組みが必要である。また、スタチン系薬剤に関する設問のように、添付文書を見ていれば回答できる問題など、添付文書の内容に関する問題が多かったのも医療現場を意識したためであろう。中枢神経、循環器系、代謝系の実践問題は作成しやすいため、これらの分野の薬物の添付文書にも目を通しておきたい。薬局製剤に関する実用例も初めて出題されており、実務実習での知識の習得が重要となる。第 98 回の難易度が上昇することが予想される。なるべく早めの対策が必要である。



薬 のことなら 薬事日報ウェブサイト

『薬事日報』に掲載される記事を中心に、医薬業界のニュースサイトとして成長を続けています。

読者の約 8 割が医薬業界に属しており、サイト全体のページビューは月間 100 万を超え、医薬業界のニュースサイトとしては最大規模に成長しています。医薬業界の情報収集にご活用ください。

<http://www.yakuji.co.jp>

薬事日報

検索

「薬学生新聞」も
ウェブサイトに公開中!!